

2011年(平成23年)6月13日(月曜日)

各地で総会

新会長に井上氏

被災地グループを支援

緑友会

全国印刷緑友会(作道孝行会長)は5月21日、鹿児島県鹿児島市のかじしま県民交流センターで第54回鹿児島総会を開催した。任期満了に伴って役員改選で新会長に就任した井上雅博氏は「多様なものをすべて受け入れられる大きな器を保つ」

た寛容な会にこそ所信表明。今年度の活動テーマは「われわれは、これから再び強くなる」地域活性化を通して、地域に愛される企業になろうと、被災地グループ支援として、仙台と茨城について平成23年度は会費を免除する方針も決めた。

主旨は黎明さつまつ。平成22年度は「印刷を通して地域で愛される企業づくり」を活動テーマに、8月の佐賀大会、2月の神戸セミナーなどを成功させました。新事業の「リサイクルブックエイド」(シャントー国際ボランティア会・SVA主催)への協力では、11万5000円をアジアの発展途上国の図書館運営などの資金として寄付し、SVAから感謝状がおくられた。今年度も「リサイクルブックエイド」の協力を継続する。

被災地へ義援金の被災地グループの会費を今期のみ免除③被災地グループへの印刷発注一を挙げている。④については緑友会が会員グループから募集した復興ポスターの印刷を仙台と茨城へ交互に発注。このほか会報などについても検討していく方針。なお、ポスターのデザインは継続して募集中。

今後の開催事業には、8月27日にホテル阪急インターナショナルで第53回大阪大会の開催、来年2月4日にPrint Next 2012への協力・参加ほか、井上新会長あいさつ

この時代は何百年に一度と言われるような大きな変革が様々な分野で起きています。今まさに印刷業、資材サプライヤー、製本業、製版業、デザイナー、広告関連業、すべての業種が生まれ変わるようになっています。そんな時代に、業種も年齢も育った地域も目指すところも様々なわかれがこころで一堂に会することができ、とても大きな意味がある。今後の印刷緑友会という仲間がいる限り、どんな試練も必ず乗り越えられ、先人が作った大きな歴史を守り、新たな歴史を創っていくことができる、と信じている。これからはもっと多様化が求められる。全国印刷緑友会は、そんな多様なものをすべてを受け入れられるような、大きな器を保つた寛容な会でありたい。



井上新会長(左端)と作道直前会長(左から2人目)、新役員

なお、平成22年度のフレックスオブグリーン大賞は大阪青年印刷人クラブが輝いた。平成23年度事業には東日本大震災支援を新たに加え、被災地グループの仙台刷親会と茨城印刷緑友会の復興をバックアップしていく。主な支援策として、①